
因果

s p n y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

因果

【Nコード】

N6074S

【作者名】

s p n y

【あらすじ】

因果応報について書きました。ちょっと思いついただけで浅い内容ですw

(前書き)

因果 原因と結果。また、その関係。
大辞泉で引きました

どうにも為らない感情の奔流が、俺を狂気に導く。どうしたって許せる訳がない、俺から全てを奪ったあの女の罪は、万死に値する。誰もあいつを裁かないのなら、俺がやるしかないだろう。

多少の不安もあることは確かだ。事を成すことによって、俺の運命はどのようには変わるかもしれない。しかし、俺は今此処に有り、その理由は一つに思えた。復讐こそが俺の成すべき最大かつ唯一の存在意義であろうと。

街に行き交う人々は、それぞれの目的を持ち、これまでと寸分たがわぬ表情を持って歩いてゆく。曇天にビルが灰色の輝きを放ち、俺もその色に染まり目的の流れに紛れ込んでゆく。日は程なく落ちるだろう。あの女が現れる時間も近い。

住宅街の公園で、日没を待つ。

ブランコに腰を掛け。漕いでみる。子供の頃の思い出が蘇り、純粹な心が一瞬宿ったかに思えた。そんなことは止めよう、もういいじゃないか、復讐なんかして更に傷を作る必要があるのか？ という心の声は期待したようには聞こえてこなかった。ブランコを漕ぐたび増幅されるのは、憎しみと成し遂げた後の動物的な喜びを期待する叫びのみ。

可愛い音をたてて、街灯が少し点滅しながら太陽とは違う光を周囲に配り始める。

俺は俺の部屋”だった”所に上がりこむ。まだ家財はそのままだし、冷蔵庫すら動いている。時計の秒針が低く時間を刻み、その時へとゆっくり俺を誘う。

考える事は沢山あった。どうという言葉で断罪してやるのか、どういう方法で奴に最後をくれてやるのか、そしてその素晴らしい達成

感をどのようにして味わおうか。

冷蔵庫まで歩き、中を確認する。好みのビールを見つけて、今日
はじめての笑顔を作る。自分の笑顔の悍ましさおそが有り有りと思像さ
れ、声を出して笑った。

いかに恐ろしいあの女であっても、今の俺の悍ましさおそに敵うはず
は無いだろう。

時が過ぎ、とうとうドアがノックされる。

「はい」

俺は普通の口調で、それに答え、いつものように奴は入ってくる。
伏目のまま、ゆっくりとベッドの側まで歩を進めた女が、目を上げ
た瞬間その顔に恐怖が現れた。

「ふっふっふ、ふっふ」

俺は女の目を凝視したまま低く笑うと、考え抜いたセリフなど全
部忘れ、女の首に手をかけた。ものすごい笑い声が俺の耳に響く。
こんなに楽しいのは生まれて初めてだった。

女はがっくりと力を無くし、床に倒れこんだ。朦朧もろうとする意識の
なかで、その口が動く。

「よかった。有難う」

確かにそう言ったように思える。氷付いた狂気を貼りつけたまま
の俺の顔に確かにそう言った。

ビールをあおることもなく、俺はそのまま外に出る。何事もなか
ったように足は勝手にどこかへ進んでゆく。さてこれからどうなる
んだろう？ と思いつながら爽快感は増幅してゆく。

ふと、後ろを振り返ると、俺の部屋から、光の束が斜め上空に走
った。

そして俺の手足も徐々に光に変わっていった。

「なるほどな。これが成仏ということか」

消えゆく体を見つつ俺は思う。幽霊と言う存在が幻の域をいつま

でも出ないのには、こういう理由があったのだ。とり殺すほどの幽霊は、自分が殺した相手の幽霊によって除去され、成仏する。なるほど因果応報とは、普遍的なものなのだ。

了

(後書き)

ちよっと思いついただけです、ごめんなさいw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6074s/>

因果

2011年10月8日19時03分発行